

1 2 月 定 例 会 教 育 行 政 報 告

- 1 芸術文化振興事業について
- 2 各種大会等の出場結果について

令和5年12月11日

中標津町教育委員会

9月定例会以降の教育行政につきまして、ご報告申し上げます。

1 芸術文化振興事業について

1点目は「芸術文化振興事業について」です。

今年で76回を数える「中標津町芸術文化祭」は、10月6日から11月3日までの29日間にわたり、中標津町総合文化会館で開催いたしました。

「芸能発表会」には、町内の文化サークル21団体が出演し、カラオケや民謡、琴などのほか、ダンス系サークルからはたくさんのおもたちが発表を行いました。発表会の司会は、朗読アナウンスサークルが担当されました。

また、芸能発表会と同じ日程で開催した「合同華展」では5団体が作品を展示しました。

「総合展覧会」は、陶芸、木工、ステンドグラスなど、17団体・2個人より作品が出品され、10月6日から10月15日の10日間開催し、たくさんの方に鑑賞いただきました。

11月3日に行われた「しるべつまつり」には、さまざまな手作り作品を販売するバザー部門に19団体、7団体による体験ブースにたくさんのお来場者が「文化の秋」を楽しんでいただきました。

このほかに「中標津書道公募展」と「なかしべつ美術展」を文化祭関連事業として開催いたしました。

また、計根別地区では「第41回計根別芸術文化祭」を11月18日

から11月28日までの11日間、中標津町交流センターにおいて開催いたしました。

「総合展覧会」では、書道、陶芸、手芸など8団体・1個人のほか、計根別幼稚園と計根別学園の子どもたち、陶芸教室の受講生の作品も展示されました。

このほかに団体の協力を得て、「新そば祭り」「お茶会」も行われています。

今年も文化祭の開催にあたっては、実行委員会はじめ多くの町民の皆さまにご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

2 各種大会等の出場結果について

2点目は「各種大会等の出場結果について」です。

はじめに、小学生の関係分です。

9月9日に札幌市で開催された「第90回NHK全国学校音楽コンクール」北海道ブロックコンクール小学校の部において、中標津小学校と丸山小学校、別海町立上春別小学校の3校合同合唱団が見事金賞に輝き北海道ブロックの代表となり、10月8日に東京都で開催された「同コンクール」全国コンクール小学校の部に出場し、優良賞を受賞しました。

また、同合同合唱団は、これより前となる9月30日に小樽市で開催された「第74回北海道合唱コンクール」小学校部門において金賞となる朝日杯を受賞、その後、11月12日に福岡県で開催された「第76回

全日本合唱コンクール全国大会」小学校部門（第5回全日本小学校合唱コンクール全国大会）に北海道代表として出場し、出場33団体の中から11団体が受けた金賞のうち3位にあたる福岡市長賞を受賞し、さらに自由曲で日本人作曲の楽曲を歌った団体から1団体のみ選ばれるカワイ出版賞を贈られるなど、全国の舞台で好成績を収めました。

小学校の合唱団につきましては、本年度も昨年度に引き続き2つの全国大会に出場されるなど着実にレベルアップが図られているものと感じており、日ごろからの練習にご尽力いただいています指導者をはじめ関係者及び保護者の皆さんに対し、心より敬意を表する次第であります。

次に、「第29回馬の絵作品展」に応募した、丸山小学校5年女子が、北海道教育委員会教育長賞を受賞しました。

続きまして、農業高校の関係分です。

10月1日、岩見沢市で「パン甲子園2023 in いわみざわ」が開催され、書類審査を通過した農産加工研究班の生徒が開発した「ぶっそパン」が準グランプリを獲得しました。「ごくうまパン」、「もちりっとパン」に続き、3年連続の受賞となりました。

このパンは、ぶっかけそばを丸ごとパンにをコンセプトに、地場産の強力粉・そば粉・大根・シイタケを使い、中標津らしい今までにない新しいカタチのパンを目指し開発されました。

本大会は、実技・ディスプレイ・発表による審査で独創性や地域

性について評価していただく大会で、2ヶ月以上にわたり準備を重ねてきた生徒の努力が実を結び、今回の受賞に繋がったものであります。

次に10月25日、熊本県で「第74回日本学校農業クラブ連盟全国大会」が開催され、農業鑑定競技の畜産部門・食品部門にそれぞれ2名、東北海道連盟事務局として農業クラブ会長の合わせて5名の生徒が出場・参加し、農業鑑定競技におきましては、畜産部門・食品部門ともに1名が優秀賞を受賞しました。

次に、11月10日、農林水産省の「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第10回選定）に応募しておりましたマネージメント研究班が、コミュニティ・地産地消部門において、優秀賞を受賞しました。

農高生が地域の幼稚園児から中学生までの全学年に対する食農教育の先生として、牛の管理やアイスクリーム製造体験、馬鈴薯や小麦など特産品の栽培、ハロウィンかぼちゃ栽培とランタン加工など幅広く活動を続けてきた成果であります。

小中学生が食育を体験し、高校生になり先生として活躍するといった人材の循環や次世代への継承が実現しています。

以上、2点について申し上げ、9月定例会以降の教育行政報告とさせていただきます。